

市政アンケートモニター

くるもに

令和元年度第4回調査結果報告書

「久留米市障害者計画」「市民との協働推進」

久留米市



目 次

I	調査の目的	1
II	調査の概要	1
III	回答者の属性	1
IV	調査結果	
1	久留米市障害者計画	
(1)	障害のある人との関わりについて	2
(2)	障害者差別解消法について	4
(3)	障害者虐待防止法について	5
2	市民との協働推進	
(1)	「市民活動サポートセンター みんくる」について	6
(2)	市民活動について	6
V	使用したアンケート調査票	10

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、今後の取り組みの参考データとするために実施しています。第4回目は次の調査を行ないました。

- (1) **久留米市障害者計画**：市民の、障害者に関する法律や関わりへの意識を調査。
- (2) **市民との協働推進**：市民活動サポートセンターの認知度や利用状況、市民の市民活動に関する意識などを調査。

II 調査の概要

- (1) 調査地域・・・久留米市全域
- (2) 調査対象者・・・久留米市在住の満18歳以上の市民
- (3) 選任方法・・・住民基本台帳から無作為抽出した候補者の中からモニターを募集
- (4) 実施方法・・・インターネット調査
- (5) 調査期間・・・令和元年10月25日～11月11日
- (6) サンプル数・・・362
- (7) 回収数(率)・・・301 (83.1%)

III 回答者の属性

		(人)	(%)
性別	男性	124	41.2
	女性	177	58.8
	計	301	100
年齢	20歳代以下	48	15.9
	30歳代	71	23.6
	40歳代	75	24.9
	50歳代	43	14.3
	60歳代	49	16.3
	70歳以上	15	5.0
	計	301	100
職業	農林漁業	5	1.7
	自営業	19	6.3
	給与所得者(常勤)	138	45.8
	パート・アルバイト(学生は除く)	52	17.3
	学生	13	4.3
	家事に専念	35	11.6
	無職	24	8.0
	その他	15	5.0
計	301	100	
地域ブロック	東部	27	9.0
	北部	50	16.6
	中央東部	40	13.3
	南東部	24	8.0
	中央部	49	16.3
	中央南部	62	20.6
	南西部	25	8.3
	西部	24	8.0
	合計	301	100

※地域区分(校区)

東部:	山川、山本、草野、善導寺、大橋 船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部:	小森野、合川、宮ノ陣、北野、弓削、大城、金島
中央東部:	西国分、東国分、御井
南東部:	上津、高良内、青峰
中央部:	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部:	鳥飼、金丸、南、津福
南西部:	荒木、大善寺、安武
西部:	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀬、西牟田

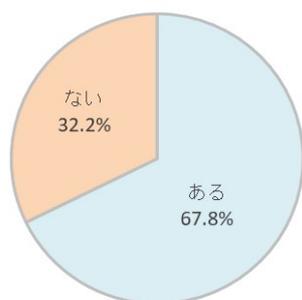
IV 調査結果

1 久留米市障害者計画

(1) 障害のある人との関わりについて

問1 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、手助けをしたりしたことがありますか。

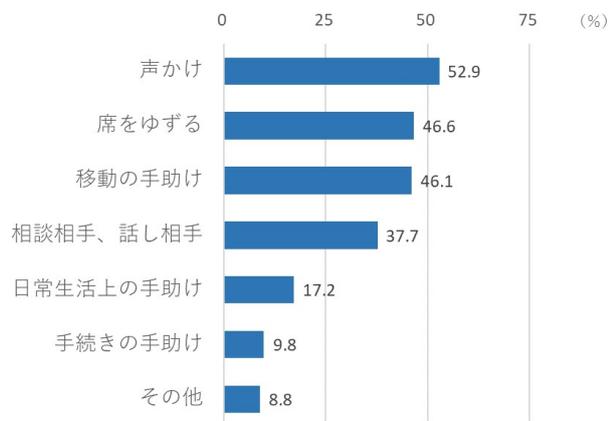
(N=301)



	(人)	(%)
ある	204	67.8
ない	97	32.2

問1 付問1 問1で「ある」と回答した人におたずねします。それはどのような対応でしたか。
(※複数回答)

(N=204)



	(人)	(%)
声かけ	108	52.9
席をゆずる	95	46.6
移動の手助け	94	46.1
相談相手、話し相手	77	37.7
日常生活上の手助け	35	17.2
手続きの手助け	20	9.8
その他	18	8.8

問1 付問2 問1で「ない」と回答された方におたずねします。なかったのはどうしてですか。

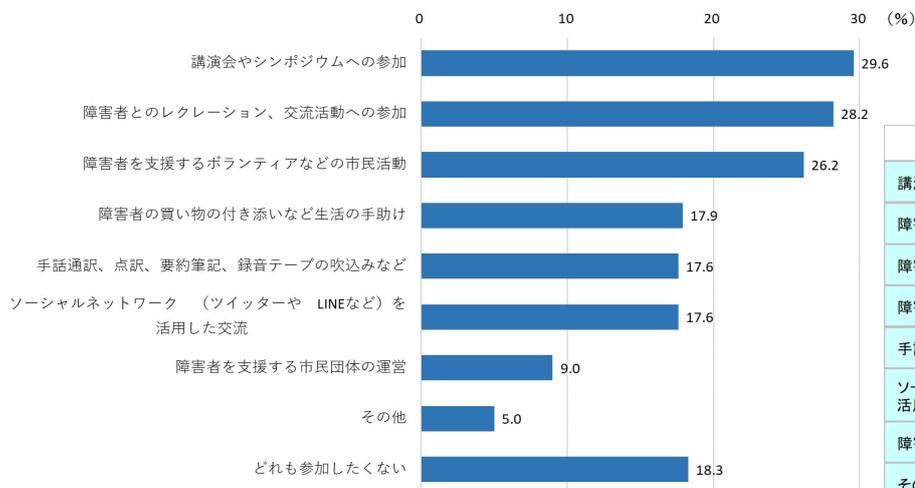
(N=97)



	(人)	(%)
機会がなかった	75	77.3
自分がきちんと対応できないと思った	11	11.3
相手がどう反応するかわからずとまどった	7	7.2
おせっかいになるような気がした	2	2.1
周囲に気恥ずかしさを感じた	1	1.0
手助けすることが障害者のためにならないと思った	1	1.0
その他	0	0.0

問2 あなたは、障害のある人を支援する次のような活動に参加したいと思いますか。
(※複数回答3つまで)

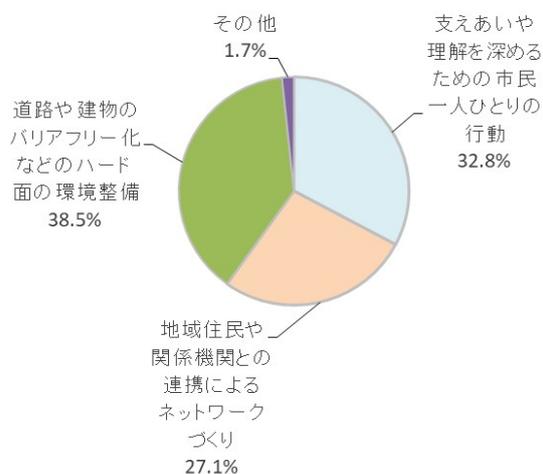
(N=301)



	(人)	(%)
講演会やシンポジウムへの参加	89	29.6
障害者とのレクリエーション、交流活動への参加	85	28.2
障害者を支援するボランティアなどの市民活動	79	26.2
障害者の買い物の付き添いなど生活の手助け	54	17.9
手話通訳、点訳、要約筆記、録音テープの吹込みなど	53	17.6
ソーシャルネットワーク (ツイッターや LINEなど) を活用した交流	53	17.6
障害者を支援する市民団体の運営	27	9.0
その他	15	5.0
どれも参加したくない	55	18.3

問3 障害のある人が地域で生活するに当たって、どのようなことが必要だと思いますか。

(N=299)

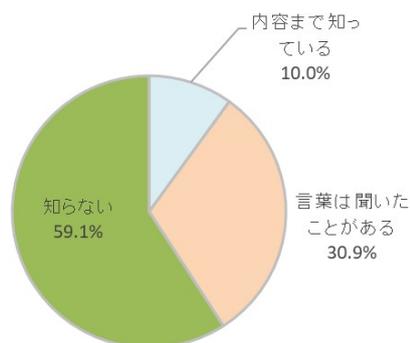


	(人)	(%)
支えあいや理解を深めるための市民一人ひとりの行動	98	32.8
地域住民や関係機関との連携によるネットワークづくり	81	27.1
道路や建物のバリアフリー化などのハード面の環境整備	115	38.5
その他	5	1.7

(2) 障害者差別解消法について

問4 あなたは、平成28年4月に施行された障害者差別解消法について知っていますか。

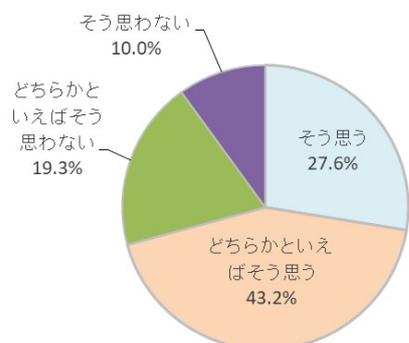
(N=301)



	(人)	(%)
内容まで知っている	30	10.0
言葉は聞いたことがある	93	30.9
知らない	178	59.1

問5 あなたは、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

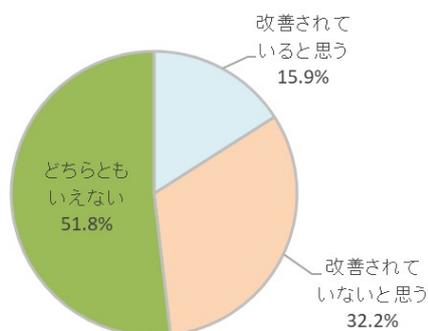
(N=301)



	(人)	(%)
そう思う	83	27.6
どちらかといえばそう思う	130	43.2
どちらかといえばそう思わない	58	19.3
そう思わない	30	10.0

問6 あなたは、4年前（障害者差別解消法が施行される前）と比べて、障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。

(N=301)

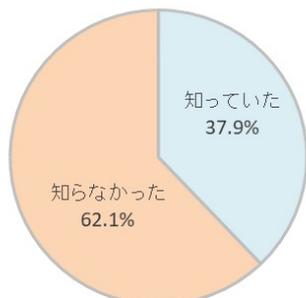


	(人)	(%)
改善されていると思う	48	15.9
改善されていないと思う	97	32.2
どちらともいえない	156	51.8

問7 障害のある人が地域で暮らすためには、社会の中にあるバリアを取り除く配慮が必要になることがあります。（例えば、車いすの介助やわかりやすい説明など。）

あなたは、こうした配慮をしないことが「障害を理由とする差別」に当たることを知っていましたか。

(N=301)

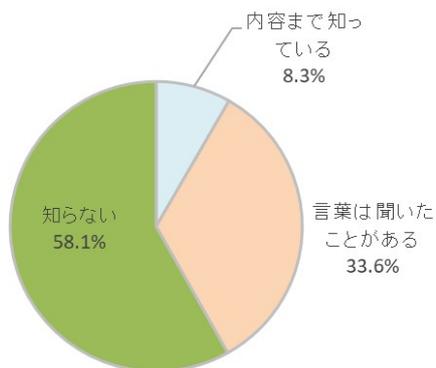


	(人)	(%)
知っていた	114	37.9
知らなかった	187	62.1

(3) 障害者虐待防止法について

問8 あなたは、平成24年10月に施行された障害者虐待防止法について知っていますか。

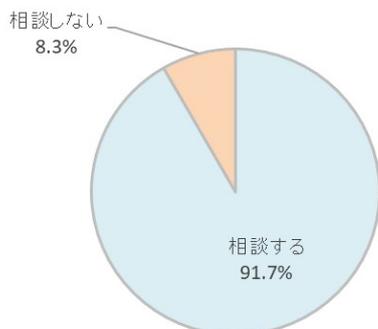
(N=301)



	(人)	(%)
内容まで知っている	25	8.3
言葉は聞いたことがある	101	33.6
知らない	175	58.1

問9 あなたは、障害者が虐待されているのではないかと場面を見聞きしたとき、誰かに相談しますか。

(N=301)



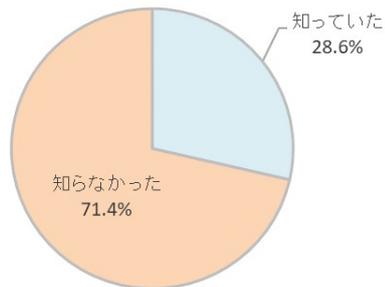
	(人)	(%)
相談する	276	91.7
相談しない	25	8.3

2 市民との協働推進

(1) 市民活動サポートセンターみんくるについて

問11 あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、ボランティア活動や地域活動などの市民活動を支援する「市民活動サポートセンターみんくる」のことを知っていましたか。

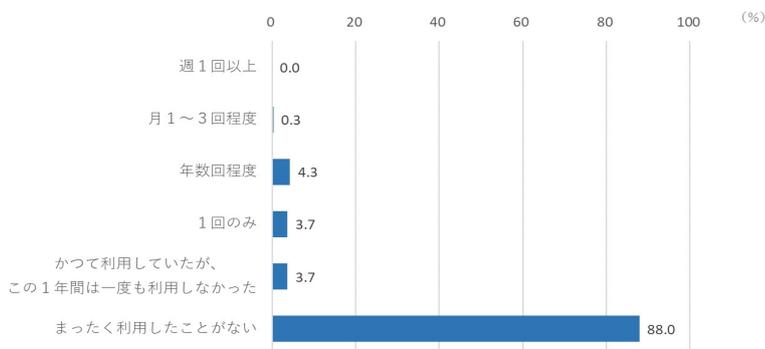
(N=301)



	(人)	(%)
知っていた	86	28.6
知らなかった	215	71.4

問12 あなたは、この1年間に「市民活動サポートセンターみんくる」をどれくらいの頻度で利用しましたか。

(N=301)

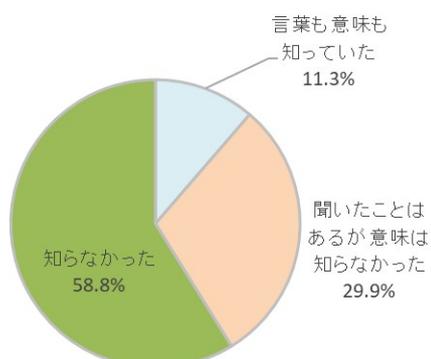


	(人)	(%)
週1回以上	0	0.0
月1～3回程度	1	0.3
年数回程度	13	4.3
1回のみ	11	3.7
かつて利用していたが、この1年間は一度も利用しなかった	11	3.7
まったく利用したことがない	265	88.0

(2) 市民活動について

問14 あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「協働のまちづくり」という言葉を知っていましたか。

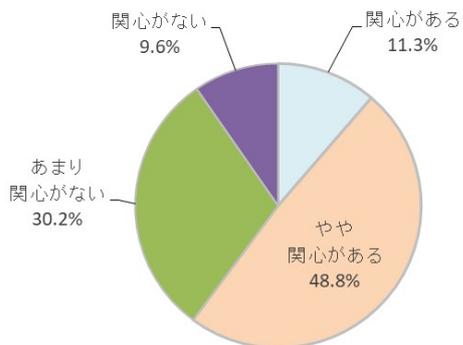
(N=301)



	(人)	(%)
言葉も意味も知っていた	34	11.3
聞いたことはあるが意味は知らなかった	90	29.9
知らなかった	177	58.8

問15 あなたは、ボランティア、NPO 活動や地域活動などの「市民活動」に関心がありますか。

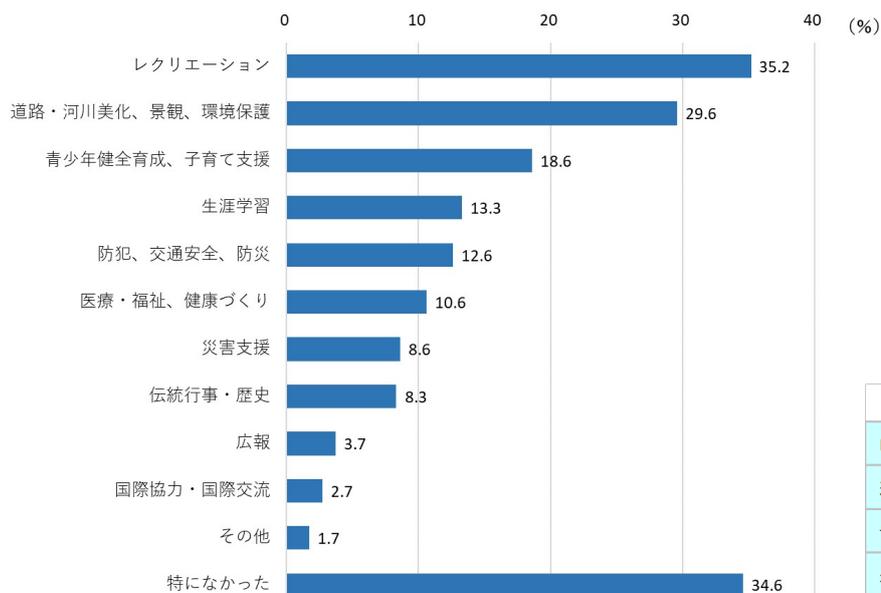
(N=301)



	(人)	(%)
興味がある	34	11.3
やや興味がある	147	48.8
あまり関心がない	91	30.2
関心がない	29	9.6

問16 あなたは、この1～2年間に、次のような市民活動に参加したことがありますか。
(※複数回答)

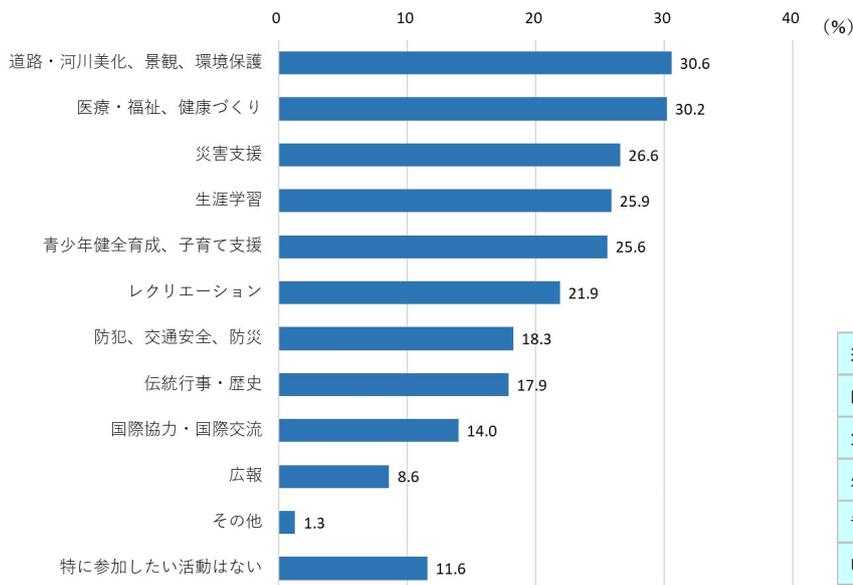
(N=301)



	(人)	(%)
レクリエーション	106	35.2
道路・河川美化、景観、環境保護	89	29.6
青少年健全育成、子育て支援	56	18.6
生涯学習	40	13.3
防犯、交通安全、防災	38	12.6
医療・福祉、健康づくり	32	10.6
災害支援	26	8.6
伝統行事・歴史	25	8.3
広報	11	3.7
国際協力・国際交流	8	2.7
その他	5	1.7
特になかった	104	34.6

問17 次の中で、あなたが、今後引き続き、あるいは新たに参加してみたいと思う市民活動は何ですか。(※複数回答)

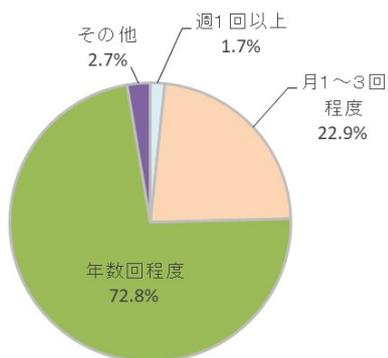
(N=301)



	(人)	(%)
道路・河川美化、景観、環境保護	92	30.6
医療・福祉、健康づくり	91	30.2
災害支援	80	26.6
生涯学習	78	25.9
青少年健全育成、子育て支援	77	25.6
レクリエーション	66	21.9
防犯、交通安全、防災	55	18.3
伝統行事・歴史	54	17.9
国際協力・国際交流	42	14.0
広報	26	8.6
その他	4	1.3
特に参加したい活動はない	35	11.6

問18 あなたが市民活動に参加する頻度として、どのくらいが適当だと思いますか。

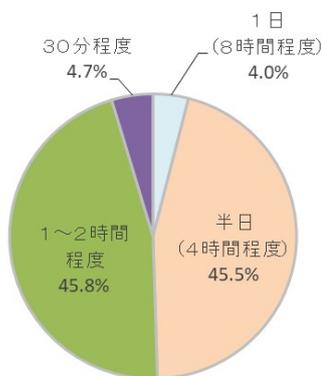
(N=301)



	(人)	(%)
週1回以上	5	1.7
月1～3回程度	69	22.9
年数回程度	219	72.8
その他	8	2.7

問19 あなたが市民活動に参加する時間として、1回あたりどのくらいが適当だと思いますか。

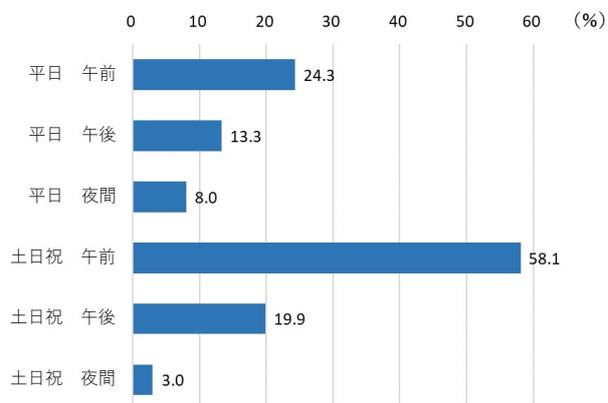
(N=301)



	(人)	(%)
1日(8時間程度)	12	4.0
半日(4時間程度)	137	45.5
1～2時間程度	138	45.8
30分程度	14	4.7

問20 あなたはが市民活動に参加する日程・時間帯として、どれが適当だと思いますか。
(※複数回答2つまで)

(N=301)



	(人)	(%)
平日 午前	73	24.3
平日 午後	40	13.3
平日 夜間	24	8.0
土日祝 午前	175	58.1
土日祝 午後	60	19.9
土日祝 夜間	9	3.0



V 使用したアンケート調査票

令和元年度市政アンケートモニター「くるモニ」

第4回「久留米市障害者計画」「市民との協働推進」アンケート

〔調査期間：令和元年10月25日（金）～11月11日（月）〕

1 障害者計画について

久留米市では、障害の有無に関わらず、誰もが支えあいながら安心して暮らし続けることができるまちの実現に向けて「久留米市障害者計画」を策定し、障害者の自立及び社会参加・参画の支援等に係る取り組みを進めているところです。

障害のある人との関わりについておたずねします

問1 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、手助けをしたりしたことがありますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 ある --▶ 付問1へ
- 2 ない --▶ 付問2へ

付問1 問1で「1 ある」と回答された方におたずねします。
それはどのような対応でしたか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 相談相手、話し相手
- 2 声かけ
- 3 席をゆずる
- 4 移動の手助け（車椅子を押す、横断歩道での付き添いなど）
- 5 手続きの手助け（手続きの内容の説明、代筆など）
- 6 日常生活上の手助け（買い物・家事・着替えの手伝いなど）
- 7 その他（)

付問2 問1で「2 ない」と回答された方におたずねします。
なかったのはどうしてですか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 機会がなかったから
- 2 相手がどう反応するかわからずとまどったから
- 3 自分がきちんと対応できないと思ったから
- 4 おせっかいになるような気がしたから
- 5 周囲に気恥ずかしさを感じたから
- 6 手助けすることが障害者のためにならないと思ったから
- 7 その他（)

問6 あなたは、4年前（障害者差別解消法が施行される前）と比べて、障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。

（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 改善されていると思う
- 2 改善されていないと思う
- 3 どちらともいえない

問7 障害のある人が地域で暮らすためには、社会の中にあるバリアを取り除く配慮が必要になることがあります。（例えば、車いすの介助やわかりやすい説明など。）

あなたは、こうした配慮をしないことが「障害を理由とする差別」に当たることを知っていましたか。

（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

障害者虐待防止法についておたずねします

問8 あなたは、平成24年10月に施行された障害者虐待防止法について知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 内容まで知っている
- 2 言葉は聞いたことはある
- 3 知らない

問9 あなたは、障害者が虐待されているのではないかという場面を見聞きしたとき、誰かに相談しますか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 相談する
- 2 相談しない

問10 久留米市の障害者計画について、ご意見やご提案があれば自由にご記入ください。

[]

2 市民との協働推進について

市民活動サポートセンターみんくるについておたずねします

久留米市では、協働のまちづくりを進めるため、六ツ門町の「くるめりあ六ツ門」6階に「市民活動サポートセンターみんくる」を設置運営し、市民活動に関する情報収集・発信やイベント・会議、作業の場の提供、相談への対応などを行っています。

問11 あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、ボランティア活動や地域活動などの市民活動※を支援する「市民活動サポートセンターみんくる」のことを知っていましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 知っていた
- 2 知らなかった

※「市民活動」とは次の2つを指します。
◎ボランティア・NPO活動（個人・団体の活動）
◎地域活動（自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織での活動）

※「市民活動サポートセンターみんくる」については、こちらをご覧ください。
<https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1080shisei/2060volunteer/3020supportcenter/18-1.html>

問12 あなたは、この1年間に「市民活動サポートセンターみんくる」をどれくらいの頻度で利用しましたか。（あてはまる番号に1つだけ○印）

- 1 週1回以上
- 2 月1～3回程度
- 3 年数回程度
- 4 1回のみ
- 5 かつて利用していたが、この1年間は一度も利用しなかった
- 6 まったく利用したことがない

問13 「市民活動サポートセンターみんくる」について、ご意見やご提案などがあれば自由にご記入ください。

市民活動についておたずねします

問14 あなたは、市政アンケートモニター「くるモニ」に参加する前から、「協働のまちづくり※」という言葉を知っていましたか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 聞いたことはあるが意味は知らなかった
- 3 知らなかった

※「協働のまちづくり」とは…市民、地域コミュニティ組織(自治会、各種住民団体、校区コミュニティ組織)、市民公益活動団体(ボランティア団体・NPO等)、事業者、市などが、互いの立場や特性を理解し、尊重しながら、それぞれの役割と責任において、単独または連携・協力して取り組むまちづくりのことです。

問15 あなたは、ボランティア、NPO活動や地域活動などの「市民活動」に関心がありますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 関心がある
- 2 やや関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 関心がない

問16 あなたは、この1～2年間に、次のような市民活動に参加したことがありますか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 道路・河川美化、景観、環境保護
(道路や河川の美化活動、花づくり、資源回収やリサイクルを進める活動など)
- 2 青少年健全育成、子育て支援
(通学時の子ども見守り、親子ふれあいサークルなど)
- 3 医療・福祉、健康づくり
(高齢者や障害者に対する活動、ウォーキングやラジオ体操など)
- 4 生涯学習
(教養や趣味サークルなど)
- 5 防犯、交通安全、防災
(防犯パトロール、防災訓練や防災研修など)
- 6 伝統行事・歴史
(地域の伝統行事や歴史に関する活動など)
- 7 レクリエーション
(校区まつりや運動会など)
- 8 広報
(地域や団体における広報物の編集や発行など)
- 9 国際協力・国際交流
(開発途上国への援助や留学生との交流など)
- 10 災害支援
(被災地でのボランティア活動、物資提供など)
- 11 その他
()
- 12 特になかった

問17 次の中で、あなたが、今後引き続き、あるいは新たに参加してみたいと思う市民活動は何ですか。(あてはまる番号にいくつでも○印)

- 1 道路・河川美化、景観、環境保護
- 2 青少年健全育成、子育て支援
- 3 医療・福祉、健康づくり
- 4 生涯学習
- 5 防犯、交通安全、防災
- 6 伝統行事・歴史
- 7 レクリエーション
- 8 広報
- 9 国際協力・国際交流
- 10 災害支援
- 11 その他 ()
- 12 特に参加したい活動はない

問18 あなたが市民活動に参加する頻度として、どのくらいが適当だと思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 週1回以上
- 2 月1～3回程度
- 3 年数回程度
- 4 その他 ()

問19 あなたが市民活動に参加する時間として、1回あたりどのくらいが適当だと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 1日(8時間程度)
- 2 半日(4時間程度)
- 3 1～2時間程度
- 4 30分程度

問20 あなたが市民活動に参加する日程・時間帯として、どれが適当だと思いますか。
(あてはまる番号に2つまで○印)

- | | |
|---------|----------|
| 1 平日 午前 | 4 土日祝 午前 |
| 2 平日 午後 | 5 土日祝 午後 |
| 3 平日 夜間 | 6 土日祝 夜間 |

問21 市民との協働推進について、ご意見やご提案があれば自由にご記入ください。

[]



ご多忙のところ調査にご協力いただき、本当にありがとうございました。

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課

住所 久留米市城南町1-5番地3

TEL 0942-30-9015

FAX 0942-30-9711

E-Mail sodan@city.kurume.fukuoka.jp